



京丹波町病院では訪問リハビリテーションを行っています。

病気やケガ、年齢を重ねることにより生活機能が低下するなど通院することが困難になる場合があります。そんな方のご自宅に理学療法士などのリハビリスタッフが訪問して、その方の活動につながる機能の訓練を行ったり、活動につながる環境調整（歩行器や車椅子、手すりなどの福祉用具の活用や住宅改修の提案、介護者に対して介護方法の伝達など）を行ったりして、その方らしい生活を取り戻すことや生活の質の向上を目指して取り組んでいます。

病気やケガ、年齢を重ねることによって毎日の暮らしの中で「トイレまで行くのにこけそうで怖い」、「勝手口の段差を上げる力が出ない」など、困りごとがあると大変ですね。少しの工夫や頑張りで今までと方法は違うけれど、安心してできることがあるかもしれません。

自宅で、そして京丹波町で安心して暮らし続けたい、そんな方やご家族をサポートいたしますので当院へご相談ください。

問：国保京丹波町病院 Tel.86-0220



「便潜血検査」受けたことありますか？

「便潜血って何の検査??」、「検査を受けて“陽性”って出たけど放置している…」といった方はいませんか。

「便潜血検査」とは、便に見た目にはわからない微量の血液が含まれているかを調べる検査で「大腸がん検診」として以前から行われているものです。

通常は便が出てくるまでの過程で便に血は混じりません。しかし、大腸がんや大腸ポリープは出血しやすく、それらがあると便に血が付いて陽性の結果になります。「便潜血検査」はスクリーニング検査（その病気の可能性があるかどうかの検査）ですので、陽性でもポリープが見つかる確率で50%、大腸がんがある確率で数%といわれています。

がんは無症状で進行していくことが多い病気です。しかし、「便潜血検査」を受けることで早期発見できれば治る可能性が高くなります。そのため、陽性であればぜひ大腸カメラを受けてください。また、「便潜血検査」は少ない負担でできる検査なので、まだ受けたことがない方はぜひ一度ご相談ください。



京丹波町病院 月曜日、水曜日、第4土曜日
総合内科一般外来
和知診療所 火曜日 総合内科一般外来
あだち ともひろ 安達 有博 医師

～健幸～生き活きウェルネス

京丹波町にお住いの皆さんが健やかに幸せに「健幸」で暮らせるように・・・。

国保京丹波町病院では、病気になる前の「予防医療」を大切に

病気を患ってからもその人なりに幸せに暮らせるよう「地域包括ケアシステム」を充実し町民一人ひとりの健幸Wellness—ウェルネス—を目指しています。



かき た ひで はる
垣田 秀治院長



先日、タレントのリュウチェルさんが亡くなりました。自殺と報道されています。歌舞伎役者の猿之助さんご一家も調査中ではありますが、自殺未遂や自殺ほう助などと報道されています。

有名人の方が自殺されるとテレビなどでもこのように話題になりますが、今、日本では毎年2万人以上の方が自ら命を絶たれており、15～39歳の若い世代では自殺が死因の第一位となっています。京丹波町でも昨年は自殺された方は0名でしたが、毎年数名の方が自殺されていて決してよそ事で済ましてはいけないことと思います。

京丹波町では自殺対策推進会議というものがある。定期的に持たれており、いろいろな事で悩んでおられる方と向かい合い、最悪の事態を招くことが

ないようにサポートする体制を整えようと努力しております。

毎月2回、精神保健福祉士による「こころの健康相談」という相談会を開いていますし、メンタルチェックシステムの「こころの体温計」でストレス度を診ることもできます。それらは京丹波あんしんアプリでも詳細を見ることができますし、健康推進課に相談していただくこともできます。

また、7月から8月にかけて、町民を対象とした「こころの健康に関する町民意識調査」というものが予定されています。無作為抽出によるアンケート調査ですが、是非、皆さんの協力をお願いしたいと思います。悩んでおられる方を地域でサポートし守っていく、そんな京丹波町になればいいですね。